

2025 年度

久留米大学大学院比較文化研究科
(後期博士課程)

学 生 募 集 要 項

久 留 米 大 学

目 次

教育理念など	2
一般入学試験	3
入学資格審査について	10
学納金・奨学金等	11
大学院案内	13
論文指導担当教員一覧	15
試験場案内図	16

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。なお上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理は十分に注意してください。

個人情報の取扱いについて

個人情報の利用

- ① 入学願書に記載されたあなたの個人情報は、本学における出願処理、書類不備の連絡（これはあなたの在籍校に対し行うこともあります）、入学試験の実施、合格した場合の通知・連絡、入学手続に関する書類の送付・連絡、入学手続をした場合の資料送付に利用します。
- ② 本学は、上記の個人情報を、各種統計資料作成のために利用します。統計資料の公表に際しては、個人が特定できないように処理します。

◎教育理念

真理と正義を探求し、人間愛と人間尊重を希求して、高い理想をもった人間性豊かな実践的人材の育成を目指すとともに、地域文化に光を与え、その輝きを世界に伝え、人類の平和に貢献することを使命とする。

◎アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

本研究科は、学術的かつ総合的な研究を基本理念として、文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部、比較文化研究所、外国語教育研究所を基礎とした文系の総合的大学院である。

本研究科は、それぞれの分野において真理と正義を探求し、地域社会に貢献できる高等専門教育研究機関および生涯教育機関（キャリア・アップ教育機関）として地域文化に着目し、実際の社会問題に対して様々な側面から問題発見・問題解決の能力を持つ人材の育成を目標とする。

後期博士課程では、各分野の研究者を志向する人材を育成する。

入試によって、大学院後期博士課程において学修できる基礎学力を備えており、博士論文を完成させる意思と能力を持つ学生の入学を受け入れる。また、高度の専門的能力を身に着けるために積極的に研究に取り組む意志があり、本学の教育理念に共感する人材を幅広く求める。

◎求める学生像

- ・高度な学術的専門知識を身につけ、教育・研究に携わりたい人
- ・地域産業社会に貢献できる人
- ・地域社会の多様な方面でリーダーとして活躍したい人
- ・グローバルな発想を持ち、国際連携・国際貢献に関心を持つ人

◎カリキュラムポリシー（教育課程に関する方針）

後期博士課程においては、各学系の専門的な知識を修得するために、後期博士課程3年間を通して徹底した少人数教育と個別論文指導を行う。主指導教員と相談の上、多彩な開講科目の中から研究テーマに必要な科目を選択する。

一人前の研究者となるために必要な博士論文を作成するための教育が行われる。

下記の8学系が設けられている。

「日本・東洋文化系」、「欧米文化系」、「福祉・社会学系」、「法学系」、「政治学系」、「商学系」、「経済学系」、「環境学系」

◎ディプロマポリシー（学位授与に関する方針）

大学院には、地域社会の要請に適応する人材養成や高等専門教育などが求められている。地域社会や地域の企業・産業における様々な分野の課題についての研究・調査能力を発揮しうる高度な専門職業人（各分野の研究者）としての能力を有する人材に対して、研究成果として作成された論文を審査して学位を授与する。

後期博士課程においては、授業科目および論文指導で必要な単位を取得し、さらに学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、「博士(文学)」、「博士(社会学)」、「博士(保健福祉学)」、「博士(法学)」、「博士(政治学)」、「博士(経済学)」、「博士(商学)」、「博士(学術)」の学位を授与する。

一般入学試験（後期博士課程）

1. 入試日程

願書受付期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
2025年 1月17日(金)～1月24日(金)	2月11日(火・祝)	2月21日(金)に 発送します	3月10日(月)

※ 書類の提出はいずれも必着締切です。

※ 自然災害または国内外の情勢等により入学試験の実施が困難な場合は、試験日等を変更する場合があります。

2. 募集人員 12名

3. 出願資格

下記のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者、または2025年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年3月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者※

※出願資格(6)は10ページ参照のこと

4. 出願手続書類一覧

(1) 提出方法

- ◇ 次頁の書類を取りそろえ、本研究科所定の出願書類提出用ラベルを使用し、「簡易書留」にて郵送してください。
- ◇ 日本国外在住者は提出書類等が別にありますので、出願時までには必ず入試課へお問い合わせください。
- ◇ **提出書類はすべて締切日《必着》です。注意してください。(消印有効ではありません)**

(2) 提出書類一覧

出願書類	留意事項	
入学願書	本研究科所定の用紙に記入してください。	共通
履歴書	本研究科所定の用紙に記入してください。	共通
写真票・ 入学検定料納付票	本研究科所定の用紙に記入してください。 入学検定料 32,000 円。本研究科所定の振込用紙を使用し、振込送金証明書を貼付してください。(納入した検定料は返還しない)	共通
研究計画書	本研究科所定の用紙に記入してください。(修士論文の要旨でも可)	共通
学術論文	修士論文、またはそれにかわるものを提出してください。(原本) ただし、法科大学院修了者が「法学系」を出願する場合は、「法学に関する論文で2万字程度のもの」で可。	共通
成績証明書	出身大学院の所定用紙に当該大学院の長が証明したものを提出してください。 外国の学校を卒業している場合は、P5を参照してください。	共通
修士の学位取得証明書 又は修士修了証明書	出身大学院の所定用紙に当該大学院の長が証明したものを提出してください。(原本) 2025年3月までに取得見込みの者は学位取得見込証明書または修士修了見込証明書を提出してください。 外国の学校を卒業している場合は、P5を参照してください。	共通
住民票	居住する区・市役所等で発行される証明書で、すべての項目(在留資格、在留期間、登録証明書番号等)が記載されたものを提出してください。また出願書類には、必ずこの証明書記載の氏名を用いてください。なお、受験のため短期間(90日以内)滞在する者は、入国査証の写しを提出してください。 マイナンバーの記載がないもの。	外国人留学生
留学生調査書	本研究科所定の用紙に記入してください。 〈添付書類〉添付書類はA4サイズに統一してください。 ① 本人の預金通帳の写し ・表紙を含む全ページの写し(過去1年分は必要) ・収入、経費支出がわかるもの(複数の通帳で管理している場合、すべての通帳の写し) ・提出不可能な場合は、その理由と出入金の経緯を記入した文書を添付すること。 ② 資格外活動許可書の写し(該当者) ・パスポートの記載部分の写し。在留資格カードの写しは不可。 ③ 状況によって①、②以外の書類を求める場合があります。	外国人留学生
パスポートのコピー	氏名・生年月日・写真・性別・国籍・在留資格・在留期間が記載されているページを全てコピーしてください。(用紙サイズ A4)	外国人留学生
出願書類提出用ラベル	必要事項を記入し、 <u>角形2号封筒</u> の表面に剥がれないように貼付してください。	共通

日本国外在住者は別途書類が必要です。出願時までに入試課へお問い合わせください。

(注1) 改姓改名により証明書と氏名が異なる人は、戸籍抄本等(証明ができるもの)を提出してください。

(注2) 提出された出願書類は、返却できません。

① 中国国内[※]の教育機関を修了（見込）の場合 ※香港、台湾、マカオを除く

中国の大学院を修了している場合は、下記の書類が必要です。認証機関が認証した電子報告書を申請して出願してください。日本の大学院を修了した外国人留学生については、この手続きは不要です。

A. 大学院を修了した者

1. 大学院の修了証明書（原本）
2. 学位取得証明書（原本）
3. 大学院の成績証明書（原本）
4. 中国高等教育学位在线验证报告 中国高等教育学生信息网（CHSI）が認証したもの※
5. 中国高等教育学歴認証 中国高等教育学生信息网（CHSI）が認証したもの※
6. 中国高等教育成績認証 中国高等教育学生信息网（CHSI）が認証したもの※

B. 出願時において、修了見込者の場合

出身大学が発行する「学位取得見込証明書」「修了見込証明書」（日本語訳を添付）を提出してください。卒業（修了）後は、速やかに「A. 大学院を修了した者」に記載の手続を完了してください。

※中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する認証書は、出願締切日までにそれぞれの認証機関からの電子認証報告メールが 直接、久留米大学へ送信されるように申請してください。

また、申請受付を完了したことがわかる証明画面等を印刷し、出願書類に同封し提出してください。

久留米大学 入試課 ⇒ nyushi@kurume-u.ac.jp

申請に関する詳細は、各認証機関の Web サイトでご確認ください。

■注意事項

1. 出願期間内に認証書が本学に到着しない場合、当該試験は受験できませんのでご注意ください。
なお、認証機関による認証書以外に、出身大学より発行された修士課程の卒業証明書・成績証明書を提出する必要があります。
2. 外国語で作成された証明書は、日本語訳を添付してください。
3. 合格後であっても、認証書が無効な場合は、入学許可を取り消します。
4. 志願者本人が受信した電子認証報告メールの転送では認められません。必ず、認証機関から久留米大学へメールが直送されるように手配してください。

② ①以外の教育機関を修了（見込）の場合

- ・修了証明書等及び成績証明書の発行を行わない外国の大学を修了した者は、原本を出願時に提示してください。（コピー後、返却）
- ・外国語で作成された証明書は、日本語訳を添付してください。

◆再発行できない証明書類は、「原本証明がされたコピー（Certified True Copy）」を提出してください。その原本のコピーは、大学または大使館・公証役場などの公的機関に認証をお願いしてください。

(3) 出願時の注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受理しないので十分注意してください。
- (2) 出願書類および入学手続書類等に虚偽の記載があったことが明らかになった場合は、合格を取り消す場合があります。
- (3) 状況によっては追加書類の提出を求める場合があります。
- (4) いったん納入された入学検定料及び提出した書類は、いかなる理由があっても返還しません。

(4) 出願書類提出先

久留米大学 入試課

〒839-8502 福岡県久留米市御井町^{みいまち}1635 TEL 0942-44-2160 (直通) FAX 0942-43-4539

(5) 受験票の送付について

- ◇受験票は、願書受付締切後、本人宛に送付します。
試験日 3 日前までに受験票が届かない場合は入試課へ連絡してください。
- ◇受験票は、試験当日必ず持参してください。

5. 試験場・試験会場

福岡県久留米市御井町 1635 久留米大学御井キャンパス

※試験会場は、試験当日の朝に御井本館 1 階に掲示します。

6. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学術論文、筆記試験（外国語）、口述試験および出身大学院の成績等を総合して判定します。

(1) 試験日、試験科目および試験時間等

試験日	試験科目	配点	時間
2025年2月11日（火・祝）	筆記試験（外国語）	200点	9:30 ～ 11:30
	口述試験	100点	12:30 ～
	学術論文審査	500点	

（備考） 試験当日は、9時10分までに集合してください。

(2) 筆記試験（外国語）

下記の選択指定に従って1カ国語を選択してください。

ただし、母語は除きます。

学 系	試 験 科 目
日本・東洋文化系	英語、中国語、中国古典語（漢文）、韓国語のうち、1カ国語を選択してください。ただし、外国人は日本語を選択してください。
欧米文化系	英語を選択してください。 ただし、外国人は日本語能力試験N1に合格していること。 （合格証明書を提出してください。）
福祉・社会学系 （募集停止中）	英語を選択してください。ただし、外国人は日本語を選択してください。
法 学 系	英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうち、1カ国語を選択してください。 ただし、外国人は日本語を選択してください。
政 治 学 系	英語を選択してください。ただし、外国人は日本語を選択してください。
商 学 系	選択指定を行いません。

経済学系・環境学系

入学者の選抜は、学術論文、筆記試験、口述試験および出身大学院の成績等を総合して判定します。

(1) 試験日、試験科目および試験時間等

※本学総合文化コース同一学系からの受験者

試験日	試験科目	配点	時間
2025年2月11日(火・祝)	筆記試験(外国語)	200点	9:30 ~ 11:00
	口述試験	100点	11:30 ~
	学術論文審査	500点	

(備考) 試験当日は、9時10分までに集合してください。

※本学総合文化コース他学系または専修文化コースからの受験者、または他大学院からの受験者

試験日	試験科目	配点	時間	
2025年2月11日(火・祝)	筆記試験	外国語	200点	9:30 ~ 11:00
		専門科目	200点	11:30 ~ 13:00
	口述試験	100点	14:00 ~	
	学術論文審査	300点		

(備考) 試験当日は、9時10分までに集合してください。

(2) 筆記試験

①外国語

下記の選択指定に従って、1カ国語を選択してください。

ただし、母語は除きます。

学系	試験科目
経済学系	英語、中国語のうち1カ国語を選択してください。 ただし、外国人は日本語を選択してください。
環境学系	英語を選択してください。ただし、外国人は日本語を選択してください。

②専門科目

学系	試験科目
経済学系	経済学
環境学系	環境学

7. 試験当日の注意事項

- ① 試験当日、試験室は8時に開室します。受験生は、9時10分までに各自の受験番号の席に着席してください。9時20分から試験に関する注意事項の説明があります。
- ② 試験開始後20分を経過した後は入室できません。交通渋滞などを考慮し、時間に余裕をもって試験会場へ到着してください。なお、入学試験専用の駐車場はありません。
- ③ 「受験票」は、必ず持参してください。「受験票」を紛失、または持参し忘れた場合は、早めに係員へ申し出てください。
- ④ 携帯電話の電源は切ってください。
- ⑤ 「受験票」は、試験中常に机の上の見やすい所に置いてください。
- ⑥ 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは以下の《机の上に置けるもの》を必ず確認してください。これ以外の所持品は置いてはいけません。
- ⑦ 辞書の持ち込みはできません。
- ⑧ 試験開始後は、その科目の解答用紙の回収が終わるまで退室できません。
- ⑨ 試験途中やむを得ない理由で退室を願う者は、監督者に申し出てください。
- ⑩ 解答用紙および下書き用紙に受験番号を必ず記入してください。なお、受験番号の記入もれおよび誤記入は採点の対象としない場合もあるので十分注意してください。
- ⑪ 解答用紙には、解答以外の不必要な文字、符号などを記入しないでください。
- ⑫ 不正行為等を行った場合は、その場で受験中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての成績を無効とします。なお、警察に被害届を出す場合があります。
※「不正行為等の取扱い」については、ホームページを確認してください。
<https://www.kurume-u.ac.jp/site/nyuushi/info-ng-.html>
- ⑬ 最終試験終了後は、特に事前の指示がない限り随時帰宅してかまいません。

《机の上に置けるもの》

所持品	注意事項
黒鉛筆・シャープペンシル	黒い芯
消しゴム	プラスチック製
鉛筆削り	電動式・大型のもの・ナイフ類は除く
時計	辞書や電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音がするもの、大型のものを除く。 試験室には時計はありませんので、必ず持参してください。
ハンカチ	無地のもの
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけ取り出したもの

※ 試験中に使用できるものは、眼鏡、マスク、目薬、座布団（無地のもの）、ひざ掛け（無地のもの）とします。

8. 合格発表

受験者全員に合否を郵送にて通知します。合否に関する電話での問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

合格通知を受けた者は、本研究科所定の書類および指示にしたがって、手続きをしてください。

入学資格審査について

個別の入学資格審査とは、比較文化研究科後期博士課程の出願資格(6)により出願しようとする者について、本研究科による個別審査により出願条件と同等以上の学力があるかどうか出願資格の有無を判定する審査です。

入学資格審査を希望する者は、詳細について9月末日までに入試課(0942-44-2160)まで必ずお問い合わせください。

1. 資格審査申請期間

10月15日(火)～10月25日(金) 必着

2. 資格審査申請手続

審査申請者は、大学院出願資格審査申請書と提出書類を取り揃え、久留米大学入試課へ必ず簡易書留で、郵送してください。

希望者は事前に入試課まで連絡してください。(久留米大学入試課：0942-44-2160)

【資格審査提出書類】

- ①大学院出願資格審査申請書(本学所定用紙) 写真貼付のこと
- ②最終出身学校等成績証明書(厳封されているもの)
- ③最終出身学校等卒業(修了)証明書またはそれに準ずるもの
- ④志望理由書(本学所定用紙)
- ⑤「一万字程度の論文(出願する学系に関連する内容)」または「卒業後の成果物の提出※」

※卒業後の成果物の提出とは、自己の能力を証明する書類等

(例えば、著書、論文、学会発表、特許、専門性にかかる資格、実務経験または語学力等を証明する書類等。資格保有者は、その写しを添付してください。)

3. 資格審査の結果通知

資格審査の結果は、本研究科にて審査し適切であると認められた者へ12月2日(月)以降、本人あてに郵送します。なお、通知書は出願時に提出してください。

学納金・奨学金等

《学納金》

(2024年度)		(単位 円)			
項目	納期	本学前期博士課程修了者		他大学院前期博士課程修了者	
		入学時	後期	入学時	後期
入学金		/		240,000	/
授業料		275,000	275,000	275,000	275,000
教育充実料		5,000	5,000	5,000	5,000
合計		280,000	280,000	520,000	280,000

※2025年度の学納金は改定することがあります。

《学納金減免制度：外国人留学生》

外国人留学生のうち、学業成績、人物ともに優秀で、経済的に修学困難な者に対し、学納金の減免を行うことにより外国人留学生の勉学助成に寄与することを目的として、学納金減免制度を設けています。

- ・採用者数 対象者の成績優秀者
- ・減免額 入学金・授業料の半額
- ・手続締切 4月中旬頃

《奨学金制度》

(1) 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、人物、学業ともに優れ、経済的な理由のために修学困難な者に奨学金を貸与して、人材育成を目的とした育英奨学事業を行っている独立行政法人です。

第一種奨学金（無利子貸与）、第二種奨学金（有利子貸与）の種別があり、それぞれ学力基準と家計基準を満たした者が出願資格を得ることができます。

- ・貸与月額（2024年度入学者）

{	第一種奨学金： 80,000円又は122,000円
	第二種奨学金： 50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円の中から希望により選択
- ・手続締切 4月下旬頃

(2) 久留米大学大学院奨学金

本研究科に優秀な研究者及び指導者の育成を図ることを目的として奨学金制度を設け、学業、人物ともに優れ、健康であって、経済的理由により修学が困難と認められる者を対象に奨学金を貸与します。

- ・貸与年額 600,000円
- ・貸与者数 8名（前期博士課程含む）
- ・返還 本研究科終了後10年以内（利子1%）
- ・日本学生支援機構の奨学金に申込み、不採用となった場合に申込受付を行います。

(3) 外国人留学生への奨学金

① 久留米大学大学院私費外国人留学生奨学金

経済的に修学困難、かつ、学業、人物ともに優れた外国人留学生に対し、経済援助を行うことを目的として、大学独自の奨学金制度を設けています。

- ・採用者数 3名（2023年度実績）
- ・支給額 月額60,000円
- ・支給期間 1年間
- ・手続締切 4月中旬頃

② その他の奨学金

外国人留学生に対する奨学金制度として、次の奨学金があります。

学習奨励費（文部科学省）・ロータリー米山奨学金・平和中島財団奨学金・公益信託椎木正和記念アジア留学生基金奨学金・（財）福岡県国際交流センター留学生奨学金・久留米留学生奨学金・朝鮮奨学会奨学金等

大学院比較文化研究科案内

1 大学院比較文化研究科の沿革

久留米大学は、かつて医学部と商学部から成る単科大学でしたが、昭和62年(1987)から総合大学への動きが始まり、それと並行して文系大学院の設置が準備されました。大学院比較文化研究科の修士課程(前期博士課程)が開設されたのは、平成元年(1989)、続いて博士課程(後期博士課程)が2年後の平成3年(1991)にスタート、その後学部、学科があいついで増設され、文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部、医学部をベースにする学際的な総合大学院に急成長しました。

2 久留米大学大学院比較文化研究科の概要

久留米大学大学院比較文化研究科は、日本、アジア、欧米の文化およびそれらの相互接触によって生じる世界文化と人間行動について、その構造と機能を比較分析し、文化接触の実態を総合的かつ分析的に研究することを目的とした学際的大学院であって、文学部・人間健康学部・法学部・経済学部・商学部・医学部および比較文化研究所を基礎とするものです。

特に、文化接触についての実態や人間関係に関する研究は本研究科の中核をなすものであり、日本のみならず世界における比較文化研究の主導的役割を果たすことを目指しています。

本研究科には、前期博士課程と後期博士課程が設置されていますが、前期博士課程では、広い視野に立って精深な学識を修め、専門分野における研究能力を身につけることを目指すと共に、高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を持つ人材の養成を目指しています。前期博士課程修了者には、修士[文学、社会学、保健福祉学、法学、政治学、経済学、学術]の学位が授与されるほか、中学・高校教員の専修免許状(国語、社会、地理歴史、公民、英語)や各種の資格を取得するのに有利な条件を提供しています。

後期博士課程では、博士の学位を取得して、将来、研究分野について研究者として自立して研究活動ができるような高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を得ることのできる人材の養成を目指しています。

後期博士課程における各学系の特徴の概要は以下のとおりです。

◎ 日本・東洋文化系

日本及び東アジア諸国の社会と文化全般に対する総合的・学際的研究を目指しています。

日本文化分野では、日本語による日本および東アジアの日本語活動の諸相、特に近代文学・現代文学を探究する日本文学の分野があります。

また、東洋文化分野では、朝鮮半島や中国大陸に近いという本学の立地条件のもとで、朝鮮の文化と社会を考察の対象とします。

前期博士課程において研究したことを土台に、より高度な専門研究を行い、博士論文の作成を目指す事になります。

本課程の単位取得者は、前期博士課程修了者と同様の進路に加えて、研究者への道が期待されています。

◎ 欧米文化系

欧米文化系では西洋史学を専攻することができます。主な専攻領域を古代ローマ史(とりわけ社会経済史)として、文献史料、碑文史料、考古学史料を駆使した研究を行います。全国学会での発表や学術雑誌への論文投稿をしうる力量を身につけつつ、独創性のある研究手法により高水準の論文を仕上げます。

◎ 福祉・社会学系

21世紀の社会象を展望する時、少子高齢化の深まり、地球環境と身体との併行劣化の広がり、市場経済のグローバル化と共同体の衰弱が、共通の問題状況となっていく傾向は不可避です。この歴史的傾向の中から、どのようにして、人に生きがいや生活の質を確保し、創出していくかが、基本的な福祉課題となります。

社会福祉は、主に法制にもとづく社会的施策として、その課題にアプローチする方法的作業ですが、そのための基礎認識として、家族と人間形成、保健・医療、教育制度、地域社会、企業社会、政治社会、マスメディアなど、社会の広汎な機能領域にかかわる、現状分析と臨床的対応の精緻化が要請されるでしょ

う。いうまでもなくこれらの認識過程は、問題の性質上、可能な限り相互関連的な、総合的共同的な作業として遂行されることが望ましいでしょう。

本学の立地する県南域ないし九州は、なお社会の共同体的構成要素を、相対的に根強く残しており、この地域特性は本コースの認識努力にとって、アジア社会に通底するものとして貴重な端緒となります。

このような共通了解のもとに本コースでは、理論、実証、実践の不可分を縦軸とし、社会機能の諸領域にわたる相関知を横軸とする思考に則して、研究・教育のあり方を構想し、全体知・相関知への希求を可能にしたいと思います。

◎ 法学系

法学系では、法哲学、民事法、刑事法について、専攻することができます。前期博士課程において研究したことを土台に、より高度な専門研究を行い博士（法学）論文の作成を目指すこととなります。

本課程の単位取得者については、前期博士課程修了者と同様の進路にくわえて研究者への道が期待されています。

◎ 政治学系

政治学系では政治理論、国際政治、地域政治、比較政治について専攻することができます。前期博士課程において研究したことを土台に、より高度な専門研究を行ない博士（政治学）論文の作成を目指すこととなります。

本課程の単位取得者については、前期博士課程修了者と同様の進路（公務員、報道関係、高校社会科教員および一般企業の専門分野）にくわえて研究者への道が期待されています。

◎ 経済学系

経済学系では、国際経済、経済政策、経済理論、経済史などの専門があります。後期博士課程は、原則として、博士論文を作成することを目標にしています。したがって、指導もその点に力点がおかれています。経済学の研究には、分野によって高度な数学、情報処理能力、それに語学力が要求されます。また、同時に、社会全体にわたっての広範な知識とバランス感覚が必要です。6学部を土台にしている本比較文化研究科は、その点有利です。

◎ 商学系

商学系は、商学、経営学、会計学を基礎とする企業機能論特講として組織された学系であり、授業科目は、これらの主要科目および関連科目が有機的に結びつくよう配慮されています。研究者としてあるいは経営者や管理者という実務経験を踏まえて、より高度専門知識を探求しようとする人にも好適です。

◎ 環境学系

環境学系では、環境学の分野のうち、森林政策を中心とした分野について専攻することができます。前期博士課程において研究したことを土台に、より高度な専門研究を行い、博士論文の作成を目指すこととなります。

本課程の単位取得者は、前期博士課程修了者と同様の進路に加えて、研究者への道が期待されています。

3 学位の授与

本学大学院比較文化研究科（後期博士課程）を修了し、学位論文審査および最終試験に合格した者には、「博士（文学）、博士（社会学）、博士（保健福祉学）、博士（法学）、博士（政治学）、博士（経済学）、博士（商学）、博士（学術）」の学位を授与します。

[論文指導担当教員一覧]

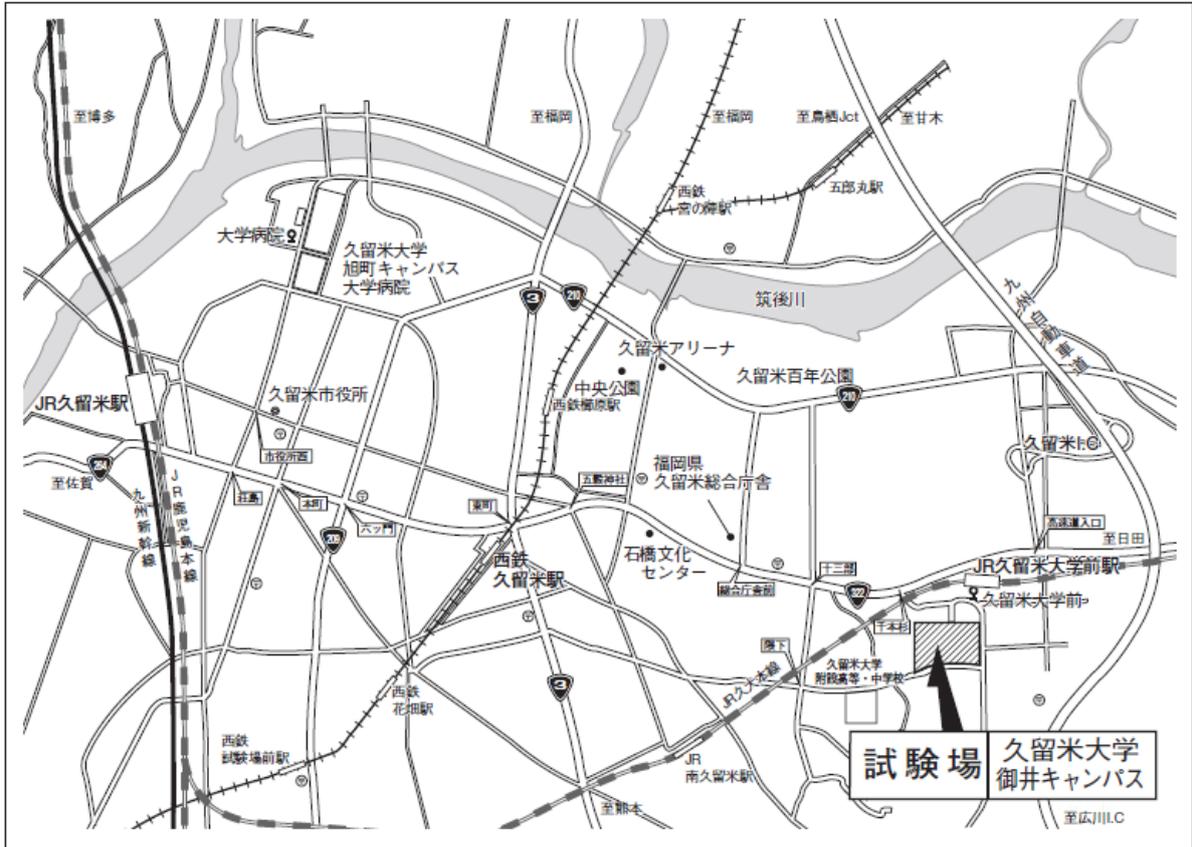
[後期博士課程]

2024年4月現在

指導教員名	担当科目
宗岡 嗣郎★	法哲学特別研究 刑法特別研究
荒井 功★	アメリカ政治特別研究
前田 俊文	西洋政治思想特別研究
金 亨 洙	マーケティング論特別研究
杉野 博貴	資本会計論特別研究
石川 真人	民法特別研究
秋本 耕二★	総合理論経済学特別研究
譚 康 融	オペレーションズリサーチ特別研究
浦田 隆 広	原価計算論特別研究
異島 須賀子	会計監査論特別研究
西原 慎 治	民事法特別研究
福永 文美夫	経営学史特別研究
奥井 秀 樹	人的資源管理論特別研究
大庭 卓 也	日本漢詩文特別研究
池口 守	古代ローマ史特別研究
葉山 アツコ	森林政策特別研究
龔 敏	労働法特別研究

★印は指導教員の選択はできません。

久留米大学案内図



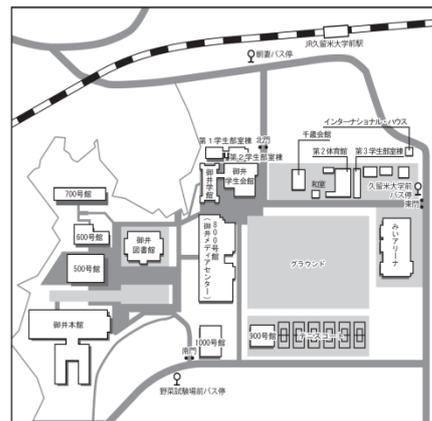
《本学までの交通機関》

御井キャンパス

大学院（比較文化研究科・心理学研究科・ビジネス研究科）
文学部・人間健康学部・法学部・経済学部・商学部

- JR 久留米大学前駅から徒歩 3 分
- 西鉄バス系統番号 1、1-1、2、7、9
（信愛学院、竹の子行きにて朝妻または久留米大学下車）
《所要時間》JR 久留米駅から 25 分
西鉄久留米駅から 15 分

久留米大学御井キャンパス配置図



久留米大学入試課

〒839-8502 福岡県久留米市御井町 1635
TEL : 0942-44-2160 (直通)
FAX : 0942-43-4539
E-mail nyushi@kurume-u.ac.jp